

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年7月4日（火）

2 確認箇所

増設雑固体廃棄物焼却設備

3 確認項目

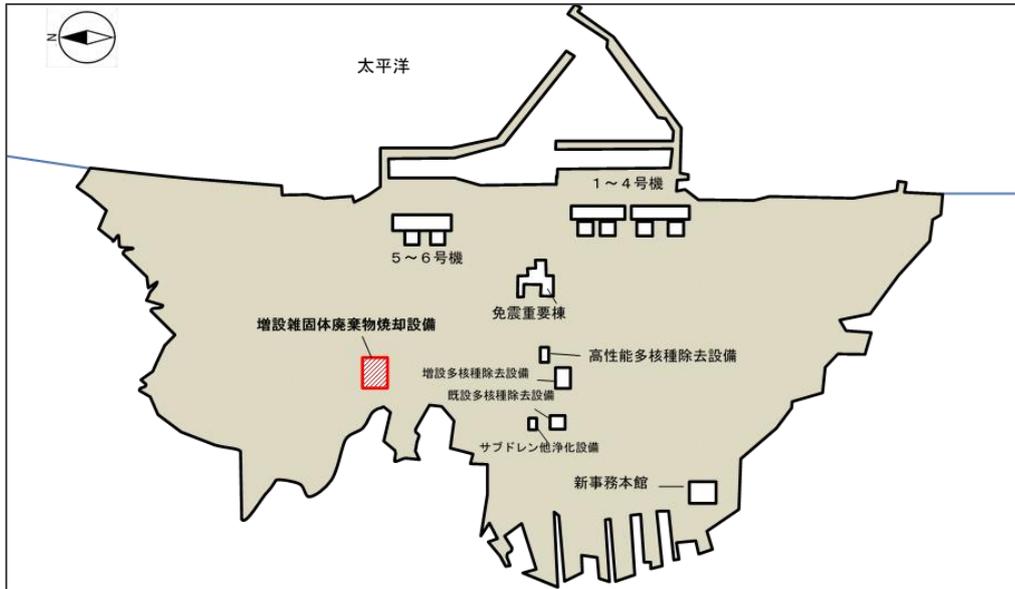
増設雑固体廃棄物焼却設備スタッパークレーン定格荷重超過の対応状況

4 確認結果の概要

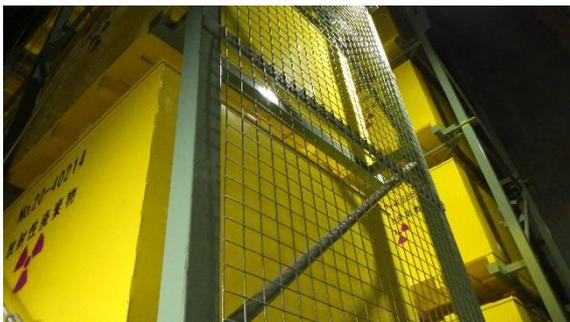
令和5年3月、増設雑固体廃棄物焼却設備の点検作業を実施していた協力企業作業員が、これまで増設雑固体廃棄物焼却設備で焼却時に発生した灰を入れた容器（以下「焼却灰容器」という。）において、スタッパークレーン※の定格荷重（1.0t）を超える荷重（最大1.2t）のものがあることを確認した。それに対し、原因調査及び対策が実施されていることから、現地確認を行った。（図1）

- ・東京電力によると、「焼却灰容器の重量が、物理的に定格荷重を超えないようにするため、容器の体積を物理的に半分程度に制限」及び「焼却灰を焼却灰容器に充填後、焼却灰容器の重量を測定する重量計の設置」の対策を講じたとのこと。
- ・焼却灰容器は、灰自動倉庫に6段積みで保管されていた。（写真1）
- ・焼却灰容器は、スタッパークレーンにより倉庫から取り出され、搬出入室に移送されていた。（写真2）
- ・上記の重量計が、増設雑固体廃棄物焼却設備建屋内に設置されていた。（写真3）
- ・重量計で重量測定後の焼却灰容器には、「705kg（主）」と記載されたテープが貼られていた。（写真4）

※スタッパークレーン：増設雑固体廃棄物焼却設備から排出された灰が充填されている灰容器を荷取り、上下、左右方向に移動し、ラックに入れるための設備。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
焼却灰容器自動倉庫の状況



スタッカークレーン

(写真2)
スタッカークレーンの状況



(写真3)
重量計の設置状況



(写真4)
重量計で重量測定後の焼却灰容器

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。